

新型コロナウイルス感染拡大に伴う アンケート結果まとめ 【現状・対応策・課題】

令和2年度 第1回 松戸市地域ケア会議
令和2年7月30日

コロナ禍における現状と対応策、課題① (松戸市地域ケア会議事前アンケートより)

テーマ	現状	取組・対応策	課題
1 日常生活	<ul style="list-style-type: none"> ①感染対策物品の不足 ②詐欺電話の増加 ③家族の介護負担、疲労の増大 (家族内トラブルの増加) ④買い物難民やゴミ捨て困難 ⑤日常生活自立支援事業の相談支援体制に影響 	<ul style="list-style-type: none"> ①マスクの手作り指導、製作 ②消費生活センターの案内と情報共有 ②留守録設定による詐欺被害防止を助言 ④店の料理の宅配(まつたく出前便) ④フードドライブの呼びかけ ⑤日常生活自立支援事業については訴えを聞き、生活支援員と共有して対応 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報の一元化 ○詐欺被害防止のための普及啓発 ○買物・外出等支援 ○ニーズと支援提供機関とのマッチング、コーディネートとの仕組み
2 フレイル 予防 見守り	<ul style="list-style-type: none"> ①在宅介護・通所サービス等の休止による廃用及びフレイルの進行 ②自粛・交流減少による不安、意欲低下、認知症の進行 ③情報不足による不安増大 ④市民団体の活動者、運営者のモチベーション低下 ⑤友人との交流ができない 	<ul style="list-style-type: none"> ①電話での利用者・家族の状況確認と傾聴 ①デイサービスに代わって入浴介助を実施、他のデイサービスやショートステイ紹介 ②自宅での運動等セルフケアの案内 ②フレイル予防についての普及啓発 ②体操教室参加者への訪問、電話でのフレイルチェック ③感染予防、消毒方法についてのポスター、パンフレットの作成・個別配布 ④IT利用相談支援(団体・個人向け)を実施予定 ⑤サークル活動に代わる自宅での製作活動の実施(マスク・つるし雛) 	<ul style="list-style-type: none"> ○孤立予防・フレイル予防の推進 ○通所や訪問以外の安否確認やモニタリング方法の確立 ○市民のITリテラシーを高める取り組みの推進
3 受診・ 相談体制	<ul style="list-style-type: none"> ①感染を恐れて自己判断による受診中断、内服薬切れによる疾患の悪化 ②電話再診、オンライン診療(処方箋発行)を知らない ③発熱時の受診先が見つからない ④受診頻度やサービス利用減少による救急搬送 	<ul style="list-style-type: none"> ①②③オンライン・電話による診療(処方箋の発行)と周知 ○在宅医療・介護連携支援センターにCovid-19の相談窓口を設置 ○介護現場からの新型コロナウイルス感染症Q&Aの作成(医師会) ○PCR検査センター設置、検査受入調整 	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな診療・相談体制整備(オンライン診療・電話再診・薬の配送)とさらなる周知 ○受診(PCR検査)受け入れ機関の情報共有と調整整備

コロナ禍における現状と対応策、課題② (松戸市地域ケア会議事前アンケートより)

テーマ	現状	取組・対応策	課題
4 感染 防護	<ul style="list-style-type: none"> ①感染対策物品の不足、使い回し ②介護者や支援者の感染リスク ③防護服の着用基準について個人で認識に差があった 	<ul style="list-style-type: none"> ①医療センターへのアイシールド製作ボランティア ①市役所へのフェイスシールド製作提供 ①施設での感染予防対策について掲示や説明を行った ②動画「訪問介護職員のためのそうだったのか！感染対策」配信(厚労省) ③介護現場からの新型コロナウィルス感染症Q & Aの作成(医師会) 	<ul style="list-style-type: none"> ○感染対策物品、備品の共同購入および適切な配給とルート整備 ○ニーズと支援提供機関とのマッチング、コーディネートとの仕組み ○市民や専門職への正しい感染予防対策に関する知識の普及と啓発
5 施設内 感染 リスク 対策	<ul style="list-style-type: none"> ①事業中止や感染対策について、利用者の理解が得られにくい ②クラスターが発生した施設の近隣施設への中傷電話等(風評被害や偏見) ③面会制限(不可)により、本人・家族の不安増大。 ④早期退院や末期患者の在宅医療への移行増加 ⑤事業所等での感染発生時、要介護者の支援継続ができるよう他の受け入れ先など連携が必要 ⑥対面での担当者会議などが困難 	<ul style="list-style-type: none"> ①本人や家族の状況に応じた訪問頻度の調整 ②丁寧な対応 ②医療従事者・介護従事者等の民泊施設無償提供 ②高齢者施設職員向け感染対策研修の実施 ③ガラス越しの面会、TV電話、手紙によるやり取りで対応 ④写真・動画活用による家族の介護力を上げるための指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設や事業所等における感染予防対策についての適切な知識・情報の共有と適正実施、管理 ○タイムリーな情報の一元化と共有 ○同業他社や多職種とサービスをカバーし合える体制づくり ○専門職のITリテラシーを高める取り組みの推進